

山形市 山寺小児童、岡山・倉敷 JCメンバーに山寺を案内 石段 上り各地を紹介、魅力伝える



2026/01/29 朝刊 地域

山形市の山寺小（武田裕子校長）3、4年生が27日、山形青年会議所（JC）との交流事業で来県した倉敷JC（岡山県）メンバーに地元の観光地を案内し、魅力を発信した。

両団体は1965（昭和40）年に姉妹JCとなり、新年会で行き来するなど交流している。今回は倉敷側の希望で来訪。児童10人は山寺観光ガイドきざし会の協力で、地元の見どころを深掘りする学習に取り組み、その成果を披露する場としてガイド役を担った。

JCは倉敷6人、山形13人が参加。児童は3班に分かれたメンバーを、門前町から奥の院まで約2時間かけて案内した。石段を上りながら各地を紹介し、雪景色の眼下を一望できる「五大堂」では、4年村並虹歌（こうた）さん（9）が「きれいだな 冬の山寺 神秘的」との一句を披露。大人顔負けの名ガイドで拍手を受けた。

3年矢萩冬華さん（9）は「きょうの出来は95点。上手にできて良かった」と笑顔。倉敷JCの熊本雄介理事長は「山寺の歴史に触れ、魅力が伝わった。思い出に残る交流を図ることができ、子どもたちに感謝したい」と話していた。

（柳沢明子）